

[okazaki_124]

活動タイトル	リモート講義による省エネ講座
実施日	2020年12月8日
場所	(オンライン開催)
対象数	105人
内容	<p>昨年までは、小グループを対象とした札幌市環境プラザのハウススタジオの見学と合わせた省エネ講座を行っていましたが、今年は、看護学科全員を対象とし、WEB 会議システムを使ったオンライン講義となりました。テーマは、「身近な生活の科学を学ぶ ～生活環境編～」です。</p> <p>まず、自己紹介として、所属する団体の市民風車を紹介し、1 基の発電量が何世帯分に相当するかを、挙手機能を使った 3 択のクイズを導入しました。また、2001 年に建った風車と 2014 年の風車の発電能力の違いから、技術が進歩していることを伝えました。次に、12 月が地球温暖化防止月間であることを紹介し、その経緯となった京都議定書と、2015 年 12 月に採択されたパリ協定を紹介。その後、温暖化の悪影響や原因について解説しました。</p> <p>さらに、V や A、W、Wh の電気の単位について説明したあと、消費電力量の算出方法を示し、(1)「20W の照明器具を 5 時間使う」、(2)「1200W のドライヤーを 10 分使う」、(3)「70W のテレビを 4.5 時間視聴する」を計算してもらいました。計算が終了したかどうかは、挙手機能を使って確認しました。冷蔵庫の効率的な使い方や、買換えの際に参考となる省エネラベルについては、挙手機能を使ったクイズを通して紹介し、11 月から統一省エネラベルが、5 段階表示から 41 段階表示に変わったことにも触れました。加えて、COOL CHOICE や、「宅配便の再配達防止キャンペーン」も紹介。コンセントなどの配線器具の容量や注意点などを伝えました。</p> <p>最後に、「人がそれほど合理的に行動するわけではない」ということに触れ、近年注目されている「ナッジ」などの行動デザインの事例を紹介して終了しました。</p> <p>配付資料:PPT の内容を PDF にしたもの(大学から学生に配布)。</p> <p>感想:学生を対象とした WEB 講義は初めての体験で、また、TEAMS というアプリケーションも今まで使ったことがなかったため、戸惑いました。事前に、事務局の方との打合せで、少し、試してはいたのですが、自身では、十分な練習ができていなかったため、双方向のものにする工夫が不足していたと反省しています。受講者の顔の見えない講義は、反応がわかりにくいと、反応を得るための工夫も重要だと思いました。</p>

実施写真等

